森町の「まつり」と伝統行事「舞楽」。

遠州 森のまつり

江戸時代から続く、遠州路最後を飾る秋祭りで華麗な彫刻を施した14台の二輪屋台が曳き回されます。伝統の祭囃子が奏でられるなか、夜には屋台どうしの激しい「練り」が行われます。最終日の夕方、若衆や氏子が神社に奉仕した舞児を各町内まで送る「舞児遠し」により、森のまつりは最高潮に達します。

舞児遠し（まいごおくし）

遠江 森町の三大舞楽

小國神社の十二段舞楽
国指定重要無形民俗文化財
文武天皇(大宝元年)の御代から今日まで続けられ、遷舞、色香、太平楽、安摩、二の舞、納蘇利、獅子舞などの十二段からなり、乱世にも絶えることなく、現在は氏子一同により伝承奉楽されています。

天宮神社の十二段舞楽
国指定重要無形民俗文化財
文武天皇(697～707年)の時代、京都から神官が着任した折、舞楽奉納したことに始まり、色香舞、太平楽舞、二の舞、陵王舞、納曽利舞、獅子舞など十二段からなり、若衆「天社艫」により継承されています。

山名神社の天王祭舞楽
国指定重要無形民俗文化財
明応五年(1496年)、拝津の国四天王寺から伝来。鶴舞、龍舞、獅郎舞、優塵獅子舞などの八段からなり、とくに獅郎舞は、昆虫のかぶとをつけて舞う、全国でも珍しい舞です。

令和のお屋根替え

次世代へつなぐ 祈り・技・美

令和二年十二月 ユネスコ無形文化遺産登録

伝統建築工匠の技 檜皮採取・檜皮葺

一宮 小國神社

天皇陛下御即位記念「令和のお屋根替え」
工期：令和２年～令和５年

日本の「伝統建築工匠の技・木造建造物を受け継ぐための仕組技術」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。今回登録された中には、当社社殿に復されている檜の皮で葺く檜皮採取や檜皮葺の技術も含まれています。先人達の多くの知恵が詰まった伝統技術は、次世代に伝え受け継いでいくべき大切な文化です。

■ 檜皮採取　■ 檜皮葺

森町の自然や匠の技が育んだ特産品

治(次)郎柿

森町が原産の治郎柿は、まろやかな風味で「甘柿の王様」と言われています。森町産の極上治郎柿は毎年秋、皇室に献上されています。

特産加工食品

地元産の新鮮な食材をもとに、甘酒、惣菜、手作りハム、ワインなど、森町らしさあふれるおいしさ、こつかしい味を作り上げています。

森山焼

森山焼は小堀遠州七窯のひとつである志戸呂焼の流れをくみ、作風は「炎の芸術」と呼ばれるようさわしい趣を知られています。現在、4軒の窯元があります。

和菓子

「梅衣」「治郎柿羊かん」「みそまんじゅう」「栗むし羊かん」など、森町には和菓子の老舗が多く、種類も豊富で味わいもバラエティに富んでいます。

遠州森の茶

清らかな水と山間の霧など、恵まれた自然条件のもとで栽培されるお茶は、銘茶産地ならではの自然の香りを大切にした味わいが好評です。町内には個性あふれるお茶の老舗や直売店がたくさんあります。

レタス

森町のレタスは、95%以上が水分というみずみずしさの中に甘みもあり、シャキシャキの食感が特徴です。一面に広がるビニールトンネルは冬の風物詩です。

とうもろこし

メロンにも匹敵する甘さの甘々娘や、森の甘太郎、まっしろなロイシーコーンなど森町のスイートコーンはバラエティーに富んでいます。

森町プロフィール

人口／世帯数　2021年2月28日現在
【人　口】 男 8,972人／女 8,964人／総人口 17,936人
【世帯数】 6,664世帯

町章

ひらがなの「もり」を図案化したもので、もりの「も」は琴(もり)を形どっています。話は古墳時代、人間が最初に考え出し、生活の先駆をなしたのであり、文化の前進を意味するものであります。全体で飛躍と伸張、融和と団結を表しています。

町の鳥/カワセミ　町の花/ユリ　町の木/さざんか

◆この地図は英公社株式会社(領権所有)発行の最も新しい地図を調製したものです。いかなる形式においても、著作権者に無断で、この地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
◆この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図を使用したものである。(承認番号　平13総使,第295号)

広告掲載のお問い合せ・お申し込みは
英公社株式会社 790-0831 愛媛県松山市山田町1186-5 TEL.089-977-9333 FAX.089-977-9345 https://wowmap.jp ◆2021年3月1日調整 KI:2358 2021.03